

# 令和4年度 第2回主幹教諭研修(任用2年目 小・中)

## 生徒指導について

鳴門教育大学 教職大学院

生徒指導コース 池田誠喜



[https://www.mext.go.jp/content/20220329-mxt\\_jidou02-000021006-004.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220329-mxt_jidou02-000021006-004.pdf)

## 生徒指導提要（改訂）の目次構成案

資料 2

### 第 I 部 生徒指導の基本的な進め方

#### 第 1 章 生徒指導の基礎

- 1.1 生徒指導の意義・実践上の視点 (生徒指導の定義、自己指導能力の育成、生徒指導の実践上の留意点 等)
- 1.2 生徒指導の類型 (生徒指導の 3 類型 ( 発達支持的指導・課題予防的指導・課題解決的指導 ) 等)
- 1.3 生徒指導の方法 (児童生徒理解、集団指導・個別指導、チーム支援 等)
- 1.4 生徒指導の基盤 (教職員集団の同僚性、生徒指導マネジメントサイクル、家庭や地域の参画 等)
- 1.5 生徒指導の取り組み上の留意点 (児童の権利条約、ICTの活用、幼児期の教育との接続、社会的自立 等)

#### 第 2 章 生徒指導を意識した教育課程

- 2.1 児童・生徒の発達の支援を支える教育課程
- 2.2 生徒指導を意識した教科の指導
- 2.3 生徒指導を意識した道徳教育
- 2.4 生徒指導を意識した総合的な学習（探究）の時間
- 2.5 生徒指導を意識した特別活動

#### 第 3 章 チーム学校による生徒指導体制

- 3.1 チーム学校における学校組織 (チーム学校、学校組織 等)
- 3.2 生徒指導体制 (生徒指導部・生徒指導主事、学年・校務分掌の横断、教職員の研修、年間指導計画 等)
- 3.3 教育相談体制 (基本的な考え方、活動体制、教育相談の研修、年間計画 等)
- 3.4 生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援 (生徒指導と教育相談の一体的連携、アセスメント)
- 3.5 危機管理体制 (学校安全、安全教育 等)
- 3.6 生徒指導に関する法制度等の運用体制 (校則、懲戒・体罰、出席停止措置 等)
- 3.7 学校・家庭・関係機関等との連携・協働 (教育、医療、福祉、司法・警察、家庭、地域、NPO 等) 等

※関係機関の記載にあたっては、児童生徒の触法や福祉支援の際の仕組み・各機関の役割について記載。

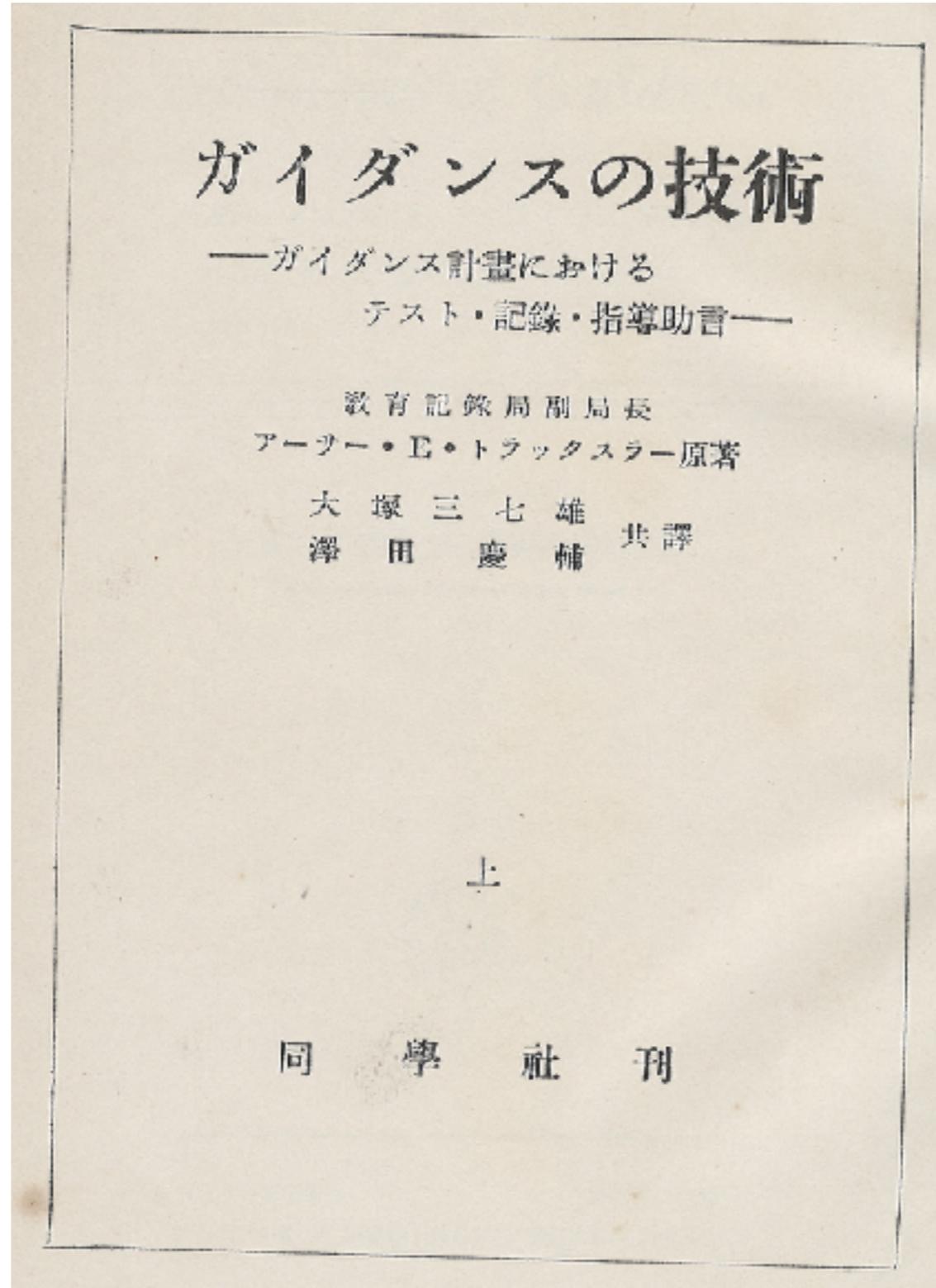
### 第 II 部 個別の課題に関する児童生徒への対応

- ・各個別課題の対応における基本的姿勢について、第 I 部を踏まえ内容を精選し、第 II 部リード文に記載。(調整中)
- ・各章のリード文において、それぞれの章に係る現状や章の概要等について記載。※特定の時点における状況ではなく中長期的な状況につき記載
- ・各章の節構成は、以下の内容を基本として、各章の内容に応じて名称や節・項の構成を検討。

- 1) 関連法規・基本方針等
- 2) 学校の組織体制と計画
- 3) 未然防止・早期発見・対応
- 4) 関係機関等との連携体制

- 第 4 章 いじめ
- 第 5 章 暴力行為
- 第 6 章 少年非行 (喫煙、飲酒、薬物乱用を含む)
- 第 7 章 児童虐待
- 第 8 章 自殺
- 第 9 章 中途退学
- 第 10 章 不登校
- 第 11 章 インターネット・携帯電話に関わる課題
- 第 12 章 性に関する課題
- 第 13 章 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導※

※児童生徒の障害や健康問題等の個人的背景や家庭的背景 等



# 自己指導能力

## ガイダンスの強調点

- ・ 然るべき過程に就かせしめて、失敗を除いたり、減ずるように工夫することにある

## 自己指導能力

- ・ 各個人に自分の能力と興味を理解させ、それを生活のゴールに関係させ、最後には民主的社会的望ましい市民として、完全な成熟した自己指導の状態にまでたあせしめるようにしてやるということである

理念的に考慮すると、ガイダンスは、各個人に自分の能力と興味を理解させ、それを生活のゴールに関係させ、最後には民主的社会的望ましい市民として、完全な成熟した自己指導の状態にまで達せしめるようにしてやるということである。かようにしてガイダンスは学校のすべての面と活潑に關係する——たとえば、カリキュラム、教授法、教授の監督、訓練の方法、出席、時間割の問題、課外課程、健康的身體的な適應計畫、家庭との關係、地域社會との關係等。このことは勿論、ガイダンス担当の職員とすべての他の職員との間の、もつとも緊密な協同を必要ならしめるものである。ガイダンスは学校のすべての領域に密接に關係するけれども、ガイダンス計畫の責任を負っている人々が、すべてのこれらの領域における専門家たることは出來ない。かれ等の機能は生徒についての正確な資料を集めて組織だてること、個人的な指導助言の仕事をする事、指導部の提供する資料を賢明に利用出来るような動的な教育計畫を、かれ等の同僚の間、生徒および両親の間に、實行することにある。

Leonard V. Koss and Grayson N. Kufner, *Guidance in Secondary Schools*, New York: The Macmillan Company, 1932, pp. 15-22

ガイダンスの意味

ガイダンスは、あらゆる教育上の問題の中で、論ずることのもつとも困難なものの一つである——というのは、その性質と機能についての混亂と不確實性が前からあつたし、現に引きつづいてあるからである。ある權威者達は、ガイダンスはすべての教育と同じ廣さをもち、学校の全體の計畫はガイダンスの目的のために組立てられるべきであると感じているが、これに反して他の人々は職業指導とか道德指導の如き、ある比較的せまい局面にガイダンスを限定しようとしている。あるガイダンス計畫は、おもに職業知識の課程から成立つていているが、他のガイダンス計畫のおもな強調點は、生徒を然るべき課程に就かしめて、失敗を除いたり、減ずるように工夫することにある。さらにあるものは、指導助言に關することの中心目的として、不當適應の治療や處置に重きを置くのである。また性格形成を、ガイダンスの中心目的ないし中心機能と考える場合も稀れではない。學校のガイダンス計畫は、

第一章 背景と方向

教育課程における教科などの目標の達成に機能するもの

教育課程を達成させるための過程そのもの

教育課程の共通性



生徒指導の個別性

(例)

- ひらがな習得の問題
- 宿題の問題

## 事例検討

- ひらがな習得の問題

小学校1年生の7月頃に、ひらがなが自分の名前しか読めない児童について、保護者との面談時に何を話しますか？

- 宿題の問題

30人の小学4年生学級で、掛け算九九を習得していない児童が4名いる場合、大きな数の掛け算の宿題を出すときに、どのような工夫をしますか？

## 教育課程内の生徒指導とは

教育課程における教科などの目標の達成に機能するもの  
教育課程他生の過程そのものに生徒指導の目標が含まれる

教育課程の共通性  生徒指導の個別性

この部分の理解・調整・工夫が必要

- **ガイダンス**

**児童のより良い生活づくりや集団の形成に関わる、主に集団の場面で行われる案内や説明**

- **ガイダンスの機能**

**案内や説明等を基に児童生徒一人一人の可能性を最大限に発揮できるような働きかけ、すなわち、ガイダンスの目的を達成するための指導・援助**

▷ **情報提供や案内、説明（学習を含む）を通して、課題等の解決・解消を図ることができるようになること**

## • **カウンセリング**

**生徒一人一人の生き方や進路、学校生活に関する悩みや迷いなどを受け止め、自己の可能性や適性についての自覚を深めさせたり、適切な情報を提供したりしながら、生徒が自らの意志と責任で選択、決定するようにするための助言等を個別に行う教育活動**

- ▷ **学校生活への適応や人間関係の形成、進路の選択などについて、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリング（教育相談を含む）**

## **カウンセリング (counseling)**

**言語的及び非言語的コミュニケーションを通して、  
健常者の行動変容を試みる人間関係**

## **心理療法 (psychotherapy)**

**病的なパーソナリティの変容を主なねらいとする**

# 発達促進的・開発的視点

## 生徒指導提要（文部科学省 2010）より

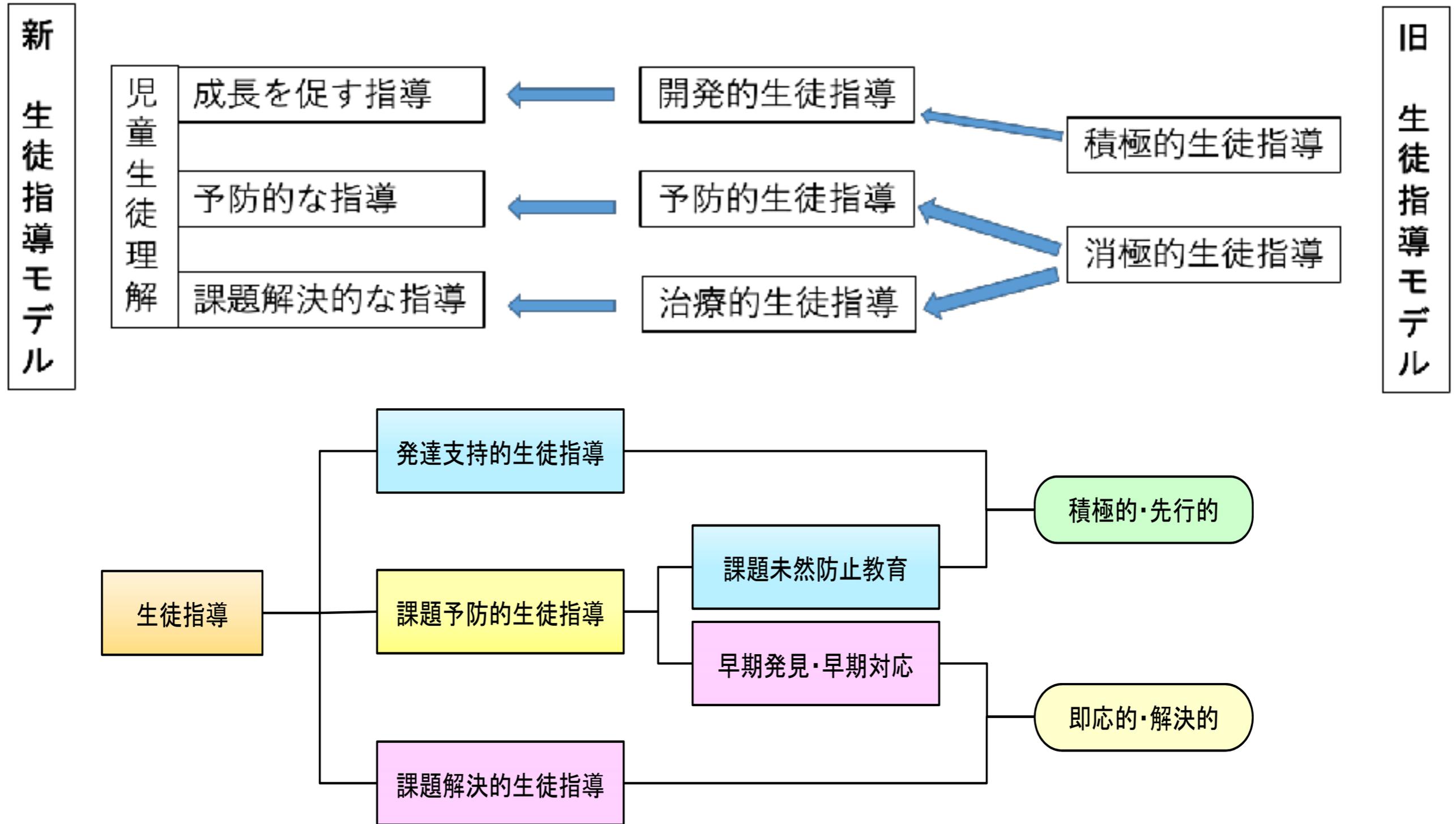
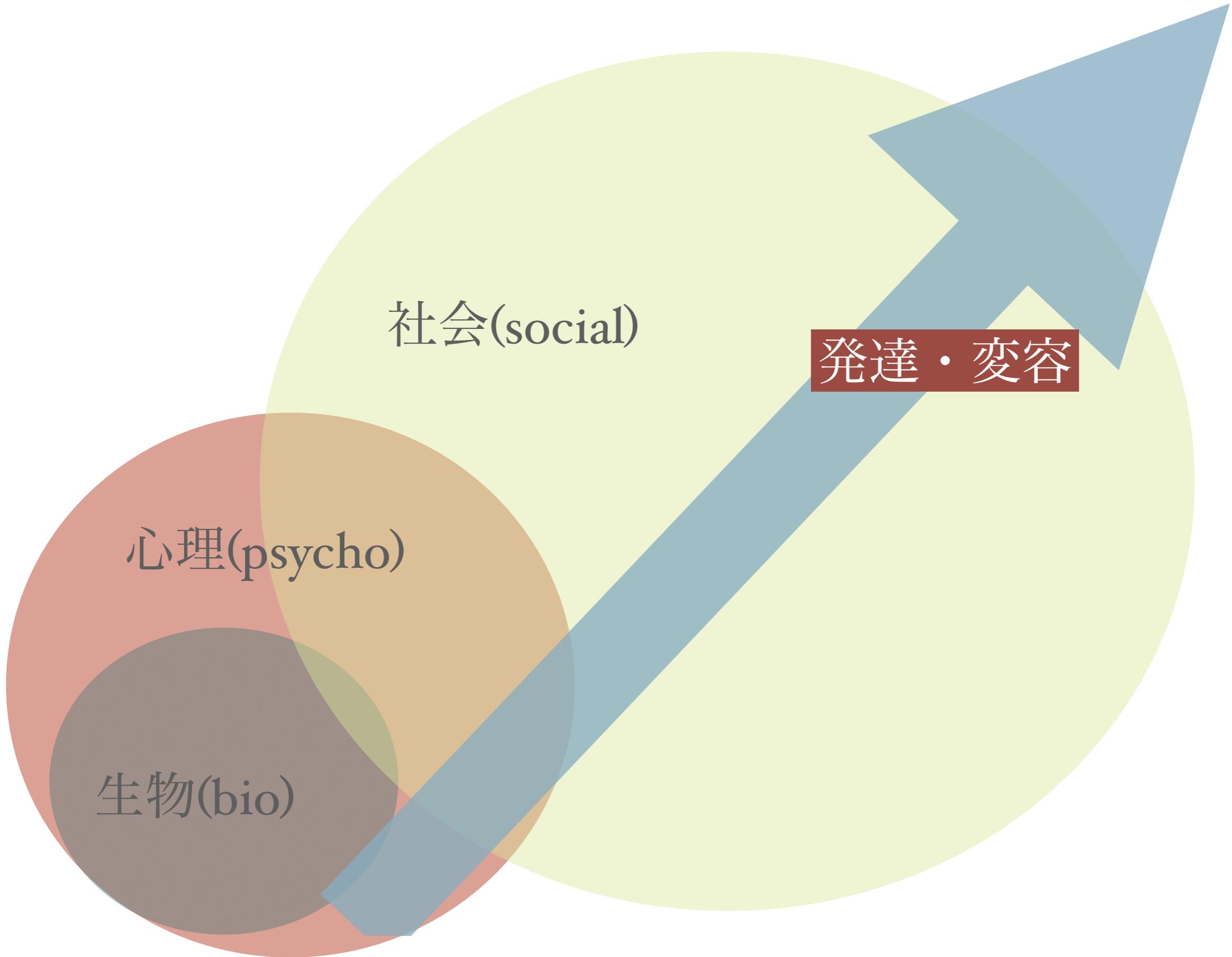


図 1.1 生徒指導の種類

出典：[https://www.mext.go.jp/content/20220329-mxt\\_jidou02-000021006-004.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220329-mxt_jidou02-000021006-004.pdf)



生徒エージェント

# ディスカッション

ディカッションのテーマ勤務校の課題を考え、どのように対応できるかを話し合ってもらいます

テーマ① 生徒指導の課題

テーマ② 生徒指導体制と組織的活動

テーマ③ いじめ防止の課題

テーマ④ いじめの組織的活動